八代市坂本町中谷地区　復興まちづくり計画（素案）

■復興に向けた課題

課題1　地区の暮らし、住まいの再建

地区での暮らしを取り戻すため、被害にあった道路の整備や住まいの再建を進めるとともに、公共交通の整備、空き家等を活用した受け皿の確保が必要です。

地区別懇談会などでの意見

- 災害公営住宅を早期建設して欲しい
- 再建に係る支援が欲しい
- 国道・県道の整備が必要
- 砂防ダムの整備が必要
- 流木の撤去が必要
- 道路の早期復旧、嵩上げが必要
- 金融機関（銀行・郵便局）が必要
- 空き家の活用や地区に住んでもらえる仕組みづくりが必要
- 床上浸水に対する補助が少なく、再建が難しい
- 雇用機会を増やして欲しい　等

課題2　観光資源や新たな取り組みによる地区の活性化、賑わいづくり

七夕綱や七夕祭り、山の神祭り等の地区資源を活用した観光振興、くま川ワイワイパークを活用したイベント開催の検討等、地区の賑わいを創出する取り組みを推進する必要があります。

地区別懇談会などでの意見

- 「七夕綱」を活用した観光の取り組みが必要
- 七夕祭りや山の神祭り等、地区の祭りの継承と祭りの復活が必要
- くま川ワイワイパークを復旧して欲しい
- 地区の観光資源としてホタルを養殖する等、活用方法の検討が必要　等

課題3　災害に負けない地区づくり

今回の豪雨災害を受け、今後同じような被害が発生しないよう防災対策を進め、災害時に住民の生命が守られる災害に強い地区づくりを進める必要があります。

地区別懇談会などでの意見

- 道路の嵩上げによる避難路の確保が必要
- 林道を迂回路・避難路として整備することが必要
- 避難所の再検討が必要
- 避難所の物資・設備を整備して欲しい
- 災害時に情報が不通とならないよう無線設備等の整備が必要　等

■復興まちづくりの目標

□□□□□□□□□□□□□□□□□□なまち　中谷

○○。

課題を解決することで地区が目指すべき姿（キャッチフレーズ）を検討ください。

■復興まちづくりプロジェクト（地区における取り組み）

プロジェクト1　住まい・生活環境の再生プロジェクト

○住まいの再建と地区での暮らしを取り戻すため、被害にあった道路や河川等の復旧を進めます。また、空き家を活用した住まいの確保を図ります。

【具体的な取り組み】

安全な住まいの再建	・輪中堤・宅地かさ上げによる安全な居住地の確保を図ります。
河川の安全性向上	・護岸の復旧や、河川内の土砂等の撤去を進めることで、災害に対する安全性を高めるよう、取り組みを進めます。
道路の安全性向上	・日常の生活や経済活動の基盤となり災害時には避難ルートとしての役割も果たす道路の安全性向上に向けて、国・県道について要望を行うとともに、市道等については住民との連携により取り組みを進めます。
空き家バンク制度の活用	・空き家バンク制度を活用した取り組みを促進します。また地区において、空き家を活用した取り組みを進めます。

プロジェクト2　地区の活性化・賑わい創出プロジェクト

○無形民俗文化財である七夕綱、七夕祭り、山の神祭り等の地区の観光資源、くま川ワイワイパークを活用したイベントの開催等により、地区に活気・賑わいを創出する観光振興を推進します。

【具体的な取り組み】

伝統の継承・保全	・地区で継承している伝統を将来的にも保全していくために、継承・保全に係る取り組みを進めます。
祭りの振興・復活	・地区に伝わる祭りの振興や復活により、コミュニティを活性化し、出身者が地区に関わる機会や地区外との交流を促進します。
公園などの資源を活用した取り組み	・七夕綱や公園などの資源を活用し、地区活力の向上・賑わいづくりを進めます。
○○（地区が主体となる取り組み）	・○○。

プロジェクト3　安全・安心な地区・防災力向上プロジェクト

○避難所の確保や災害時の情報発信を行います。

【具体的な取り組み】

避難所の確保と避難情報の伝達	・地区内の避難所を確保するとともに、避難行動要支援者（高齢者等）への対応、災害時の情報伝達手段を確保します。
情報伝達の手段及び周知体制の整備	・避難情報や被害情報等、災害時に情報伝達が途切れることなく発信できるよう防災無線や衛星電話等を整備します。
災害時のアクセス等の確保	・坂本ＰＡを活用したアクセスの確保や災害時の拠点づくりを進めます。
○○（地区が主体となる取り組み）	・○○。

ページ左の「復興まちづくりの目標」を実現するために必要な取り組み（プロジェクト）について検討ください。

※ 第２回地区別懇談会やこれまで地域の皆様からいただいたご意見をもとに作成した素案であり、未調整事項も含みます。